

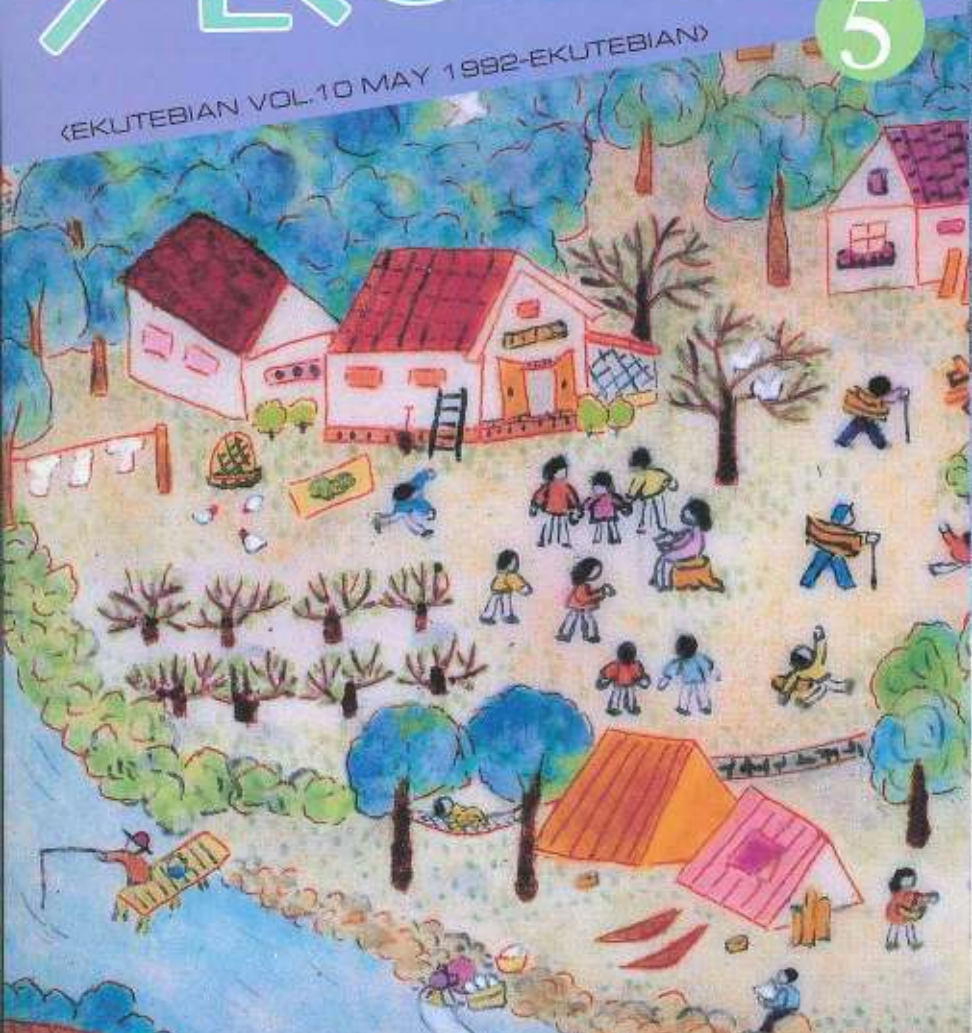
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

5

〈EKUTEBIAN VOL.10 MAY 1992-EKUTEBIAN〉



まい あーと ■七宝絵画「良い子たち」by 佐藤富江

winkers

key

light

seat

# キラリ!

# 切りかえし!

ハンドルを握りながら、スレ違い、思わずハツとすることがある。ふと目をやると向こうからカーブを大きく切りかえして来た大トラの運転手は女性。こんなことがちよつと多くなってきたようだ。たくましさ、力強さ。菅原文太のトラック野郎のような世界をさわやかに切り拓いている。

時代の風を今、堂々と、なおかつちよつと優しく走り抜ける女性ドライバーたち。

license



山下こずえさん(多摩運送立川営業所)/実距離も軽くこずえ山下さんこの日も新潟・長野からちよつと帰って来たところだった。

front back



川口理由美さん(多摩運送多摩ネットワーク)/日本でもめずらしく、フォークリフトの免許も持つ。

battery



玉川尚子さん(北多摩運送)/バスガイドからトラック運転手へ転向したという玉川さん。

engine

oil

handle

gasoline



豊泉千恵子さん(新立川交通)/はじめての女性タクシードライバーは去年の11月からスタートのお母さんドライバー。

tire



瀬尾加寿子さん(新立川交通)/大学で演劇を専攻していたという、美色のドライバー。

switch



川上浩代さん(北多摩運送)/キャリア3年のママさんドライバー。



▲前回、日本人として初登頂成功、ヒマラヤのチュル-南東峰の頂上にて今回登頂目指す、アラスカのサンフォード峰▼



▼サンフォード、登頂Route図  
C.V. 1700m  
A.C. 2070m  
C.S. 2000m  
C.D. 2200m  
C.E. 2300m  
C.F. 2400m  
C.G. 2500m  
C.H. 2600m  
C.I. 2700m  
C.J. 2800m  
C.K. 2900m  
C.L. 3000m  
C.M. 3100m  
C.N. 3200m  
C.O. 3300m  
C.P. 3400m  
C.Q. 3500m  
C.R. 3600m  
C.S. 3700m  
C.T. 3800m  
C.U. 3900m  
C.V. 4000m  
C.W. 4100m  
C.X. 4200m  
C.Y. 4300m  
C.Z. 4400m  
C.A. 4500m  
C.B. 4600m  
C.C. 4700m  
C.D. 4800m  
C.E. 4900m  
C.F. 5000m  
C.G. 5100m  
C.H. 5200m  
C.I. 5300m  
C.J. 5400m  
C.K. 5500m  
C.L. 5600m  
C.M. 5700m  
C.N. 5800m  
C.O. 5900m  
C.P. 6000m  
C.Q. 6100m  
C.R. 6200m  
C.S. 6300m  
C.T. 6400m  
C.U. 6500m  
C.V. 6600m  
C.W. 6700m  
C.X. 6800m  
C.Y. 6900m  
C.Z. 7000m  
C.A. 7100m  
C.B. 7200m  
C.C. 7300m  
C.D. 7400m  
C.E. 7500m  
C.F. 7600m  
C.G. 7700m  
C.H. 7800m  
C.I. 7900m  
C.J. 8000m  
C.K. 8100m  
C.L. 8200m  
C.M. 8300m  
C.N. 8400m  
C.O. 8500m  
C.P. 8600m  
C.Q. 8700m  
C.R. 8800m  
C.S. 8900m  
C.T. 9000m  
C.U. 9100m  
C.V. 9200m  
C.W. 9300m  
C.X. 9400m  
C.Y. 9500m  
C.Z. 9600m  
C.A. 9700m  
C.B. 9800m  
C.C. 9900m  
C.D. 10000m

# 7月19日、またまた世界へ翔ぶ 立川女子高校山岳部がアラスカ遠征

もうすっかり、お馴染みになりました。立川女子高校山岳部海外遠征隊。今回は、かつて植村直巳が14日かけて単独登頂に成功した、アラスカにあるサンフォード峰(4949メートル)登頂を狙う。ロッキーの幻の山・ツインズ、ヒマラヤの未踏峰・チュル-南東峰。そして…どこまでも夢の山を征服し続ける隊員たちと山岳部顧問の高橋清輝教諭。

## ●個の努力と和の力の結成

遠征隊にはいろいろな係がある。リーダー、医務、記録、資料、食糧、輸送。一年から積み上げてリーダーはやはり、一つの憧れ。しかし、何であれ、係になったらその係で誰にも負けない日本一になれというのが、立川女子高校山岳部のモットー。一見あまり大した係ではないと言われているが、気象係。その気象係の子が自ら講習会に行き、参考書で勉強。毎晩書き続け、ついにインターハイで天気図部門の全国一になった。医務係も一から勉強。隊を守るただ一人の看護婦としての力を身に付けるべく、講習に。本でも勉強。出発までに、立派な医務係になっていくという。食糧係は、遠征中、3日間、朝、昼、夕、すべて、違うメニューをこなせる名シェフになっているという。こうして、個の力、和の力のピークが、世界の山を無理なく登らせるのだから。『今、自分の係で何が出来るのか、いろいろと調べたりしてとても充実しています』と語る山岳部リーダーの志賀範子さんと隊員たちは明るく答えてくれた。また、驚いたことに海外遠征費は自己負担で、何割かを学校から借りる。隊員は、アルバイトもすることながら、就職後、働きながら返済していく。まさに自力のアタックにふさわしい。



顧問の高橋教諭と隊員たち、山岳部の部屋にて

## ●積み重ねた伝統

世界の登山家と言われた、あの長谷川恒夫、植村直巳の、アラスカ、ヒマラヤと聞けば、高校生が登頂するには無理ではと思うだろう。登山者は、よほど強靱な精神力と体力を持ち合せた男だと思像してしまう。それが、一見華奢で可愛らしい女子高生がアタックすること5回。総て成功。指導に来てくれる目の前の先輩たちはみな世界の山に行ってきた。であれば、その先輩たちに追いつけばよい。とてつもない夢の目標が実は目の前にある。伝統が成せる技である。

## ●いざ、アタック

一つをきかめ。その時にめぐりあえた人は自分の人生と出逢えたといえないだろうか?それは、年輪を重ねて通り着く人もいれば探しているうちに気がつくことも多いだろう。人生のうちで、感性も体力も、もともとエネルギーが豊富な時と言われる高校時代に、これだけの可能性に挑戦しようという彼女たち。8月18日の帰国が楽しみである。……平成4年7月19日、日本を出発。立川女子高校山岳部第六次海外遠征登山隊。

**多摩最大の店舗網**

みなさまの暮らしやニーズに合わせて、幅広いサービスにつとめています。

多摩のマイバンク **たましん** 多摩中央信用金庫

本店 〒190 立川市曙町2-8-28 ☎(0425) 26-1111 (F)

**▶4月29日水◀**

子どものための **Symphony**

多摩メトロポリス祭

場所: 昭和記念公園  
時間: 10:00~16:00  
入園は無料です。  
問合せ: 立川青年会議所 ☎27-1001

**立川クイズ**

立川市内に鉄道の駅がいくつあるかご存じですか?

市の南部にJRの立川駅、西国立駅、西立川駅、北立川駅、西武鉄道の玉川上水、武蔵砂川、西武立川の三駅で、全部で六つもあります。この中で最古参はJR立川駅、甲武鉄道4番目の駅として明治22年に開業した。老舗です。対するニューフェイスは昭

**和58年開業の武蔵砂川駅。**

では、残る4つの駅はどのような順に開業したのでしょう。古い順にあげてみてください。

〔4月号の答〕 泉町・1人

立川の人口は現在およそ十五万四千人。町別が一番多いのは富士見町の一八〇五八人ですが一番少ないのは泉町でナント一人!しかもその面積二・三kmは市内2番目の広さ。おひまな折にでも人口密度など計算してみてもいいか?

**立川トピックス**

福祉まつり盛大に行われる

3月22日(日) 10時から3時まで中央公民館にて第五回福祉まつりが行われ、会場は朝早くから、大勢の人たちでにぎわった。主催は社団法人、立川市社会福祉協議会・ボランティア活動推進協議会。食料品、衣類、家庭用品などの恒例のパザールもつぎ、焼きそば、手づくりクッキーなどには列ができ、ボランティア活動、健康・年金などの相談コーナー、車いす、盲導犬、点字16ミリ上映などの体験コーナーが行われた。駅のコインロッカーは福祉関係の展示が、パネル展示として16日から22日まで開催された。

**立川空襲から47年**

防空壕に眠る42人、慰ぶ思い、4月5日(日)立川市富士見町四丁目の海ノ上会館にて、「山中坂に眠る42人をしのぶ集い」が行われた。昭和二十年四月四日、富士見町四丁目の山中坂の防空壕にいた42人の子供や老人が米軍B29の空襲を受け、その犠牲になった。あれから四十七年。徳ぶ会終了後、そろって防空壕跡にある戦災復興の慰霊塔にお参りに行った。この集いは今年で四回目。合唱グループ、「鳩のうた」が主催し、合唱や朗読、立川空襲の資料展示や当時の体験談などが語られた。

**漢字一字挿入せよ**

**青田と子**は褒められぬ

**皿なめた猫**がをを負う

**真如苑だより**

ローマでのことです。キヤフェのテラスで幾人かの日本人観光客が談笑しておりました。「見て、あの青空、素晴らしい日本晴れね?」ローマで日本晴れはどうかおかし、おかし、けれど、実感アリです。立川でも「本場」の五月晴れが爽やかです。一日、真如苑へお出掛けください。

**立川市立図書館**

ひばり文庫

おひさし田島

**表紙は語る**

まい あーと七宝絵画 良いい子たち by 佐藤富江

今回はエミリーフローゲの「アトサロ」四季に展示されていた作品です。この作品「良いい子たち」は、今から15年前、東南アジアを訪れたのがきっかけ。「貧しそうな、鼻をたらした子どもたちが、裸ん坊で、裸足なのに、とても生き生きとキラキラ遊んでいたの、その全員を絵の中で遊ばせてみたかった」と言うのは、作者の佐藤富江さん。七宝では、日本でも第一任者の甲斐征典氏の一番弟子。ご自分でも15人程の弟子をかかえてかれこれ25年というから相当なベテランである。国際本として海外でも出版されている詩集「おぼあちゃんのおひるね」の表紙、挿絵にもなったことがある。ニューヨークでも個展を開催。と、子供の伸びやかな心のような活動で、とっても見る人の気持ちに安らぎを届けてくれる。七宝焼きの味わいが一層その世界を広げているようだ。近々、予定されている佐藤ワールドの展示会が楽しみである。

**日時** 5月12日(火) 2時~4時

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」(本誌)を手渡ししてくれたい人へ。

**東風**

ハツと思わせるような美女がトラックの運転をして、鮮やかなハンドル捌きで通りすぎる。ときがある、しかも大型だったり、ときにダンブカーだったりする。一時代前の流行語で「カックイッ!」と叫びたくなる。靴下を引合いにささなくとも、女性はずよくなっでどこへでも進出して行く。若い時に陸上競技をしたことがある方はご記憶だと思いが、20年ばかり前までは女性が走る一番長い距離といえは八百メートル止まりでそれ以上は身体に悪いからと、走らせなかつたものである。それがどうであろう、いまや、日本女子はマラソン王国で、この春にはバルセロナへ向けて誰が代表になるのか陸連で大もめに揉めた。早春の立川マラソンは21キロ強のハーフマラソンであったが、男女同時のスタートで、女性のトップがゴールしてから「後塵を拝して」男子がそろそろと入ってくる光景があった。そんな光景が「当り前」かあるいは「逆転」する日も、そう遠くないような気がしてくる。●知的現場にも女性大進出で、ある大手新聞の役員が、女性用洗いを急増しなければならぬとこぼしていた。TVのニュースキャスターは女性花盛りだが、かつてこの日本ではニュースを女性アナが読むと「真憑性」が欠けるからとおろされてしまったことがあった。今は昔のモノガタリである。●前髪に結ぶ高麗のえくてびあん

平成四年五月一日発行

発行所 えくてびあん編集部

東京都立川市曙町1-3-37 3F3

電話 ☎0425-26-1111

編集人 立井啓介

発行人 沖野高男

印刷所 南大出版社

毎月えくてびあん 第94号

編集者 小川知子 岡川 輝 中村裕里 蓮田俊子

発行所 東京都立川市曙町1-3-37 3F3

電話 ☎0425-26-1111

編集人 立井啓介

発行人 沖野高男

印刷所 南大出版社

毎月えくてびあん 第94号

発行所 えくてびあん編集部

東京都立川市曙町1-3-37 3F3

電話 ☎0425-26-1111

編集人 立井啓介

発行人 沖野高男

印刷所 南大出版社

**東風**

ハツと思わせるような美女がトラックの運転をして、鮮やかなハンドル捌きで通りすぎる。ときがある、しかも大型だったり、ときにダンブカーだったりする。一時代前の流行語で「カックイッ!」と叫びたくなる。靴下を引合いにささなくとも、女性はずよくなっでどこへでも進出して行く。若い時に陸上競技をしたことがある方はご記憶だと思いが、20年ばかり前までは女性が走る一番長い距離といえは八百メートル止まりでそれ以上は身体に悪いからと、走らせなかつたものである。それがどうであろう、いまや、日本女子はマラソン王国で、この春にはバルセロナへ向けて誰が代表になるのか陸連で大もめに揉めた。早春の立川マラソンは21キロ強のハーフマラソンであったが、男女同時のスタートで、女性のトップがゴールしてから「後塵を拝して」男子がそろそろと入ってくる光景があった。そんな光景が「当り前」かあるいは「逆転」する日も、そう遠くないような気がしてくる。●知的現場にも女性大進出で、ある大手新聞の役員が、女性用洗いを急増しなければならぬとこぼしていた。TVのニュースキャスターは女性花盛りだが、かつてこの日本ではニュースを女性アナが読むと「真憑性」が欠けるからとおろされてしまったことがあった。今は昔のモノガタリである。●前髪に結ぶ高麗のえくてびあん

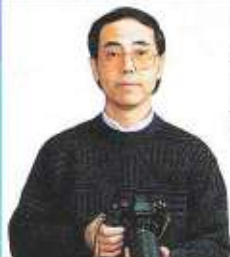


私の傑作選

NO.10

# NICE SHOT!

誰のアルバムにもキラリッと光る一枚がある。  
撮れたノと思った。シャッターが軽い。



高田亮道さん  
(柴崎町3丁目)  
愛機↓ニコンF3  
■空の不思議

下田清雄さん  
(幸町2丁目)  
愛機↓ミノルタα  
9000  
■チロちゃん

